

しみず 6A

徒然なるままに

教頭

今日、6年生は、家庭科の学習で、各教室の手洗い場の水垢汚れをたわしと雑巾でびかびかにすることに取り組みました。「水垢汚れは、片手にたわしをもって素早く10回こすり、反対の手に持った雑巾で拭くことを繰り返すと、びかびかになります。」と教えると、一人一教室前の手洗い場を担当して、黙々と一生懸命夢中になって、磨き上げていました。

実践後の、学級全体での振り返りでは、

- 日頃の掃除のときには、あまり汚れを意識していなかったけれど、細かく見ていくと、けっこう汚れているところがたくさんあることに気付いた。
- 方法を知ってきれいにしてみると、気持ちがよいし、楽しかった。
- きれいになると、心もすっきりした。
- もっと学校のいろいろなところをびかびかにしていきたい。

などの意見が出ました。

全校児童415人一人一人の学校をきれいにしようという気持ちをもっと高めるために、6年生がリーダーとなって模範を示し、より学校をびかびかにしていこうという話になりました。それらの意見を聞くときも、相手の方に体を向けて真摯に聞く6年生の姿を見て、とてもすがすがしい気持ちになりました。

昨年度は、清掃担当者は何回も企画を練り直し、少しでも縦割り班での清掃活動を行おうと試みてくれたのですが、市内での感染拡大の中で、感染症対策のために、縦割り班清掃は十分に行えませんでした。今月8日に、縦割り班清掃を再開し、6年生が各班の班長・副班長となり、班のまとめ役として奮闘しています。また、朝の愛校活動（5年 正門及び西門での挨拶運動、6年 フラワーパーク他の掃除）も頑張る高学年児童の爽やかな姿は、下学年児童のお手本となっています。

各教室の朝の会を巡回してみると、「学級での一日の目標」を立てるときに、毎日毎日欠かさず提案し続けている児童がいて、りっぱだなど、毎朝元気づけられます。

さて、この1年間で、地域ボランティア・地域交番・近隣の松山大学・その他関係諸機関等との連携も一層強化されました。昨年度は感染対策のため、保護者の参加を見送った見守り隊結成式に、今年度はPTA本部役員・PTA社会教育部員の方に参加していただきました。「参加して、こんなにたくさんの地域・関係諸機関・教職員の日々の見守りによって、児童の登下校などの安全が守られていることに気付いてよかった」というお声をたくさんいただきました。

清水小学校の一人一人の子どものために、教職員も一丸となって頑張ります。今後とも御協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



ネットトラブルから子どもたちネットトラブルから子どもたちを守る

生徒指導主事

日頃から、本校の子どもたちの健全育成に御協力いただき、ありがとうございます。

GIGA スクール構想により、子どもたちは、一人一台端末を使って学習するようになりました。子どもたちの吸収速度は速く、機械を使いこなすのは、すぐに上手になります。しかし、インターネットは便利な反面、使い方を誤ると自分が被害者になるだけでなく、自分が意図していなくても加害者になってしまうこともあり、大変危険です。正しい使い方を学ぶことやインターネットと上手につきあっていくことが求められます。学校でも情報モラル教育やインターネットの危険性について子どもたちの発達に合わせて指導していきますが、御家庭でも松山市のタブレット活用のルールを参考に家庭のルールを決めるなどして、気をつけて活用していただければと思っています。

さて、どのようなルールを決めることが大切なのでしょう。例えば、「夜遅くまで使わない」というルールは、あまり具体的ではなく、子どもの「夜遅く」の感覚と親世代の「夜遅く」の感覚は、必ずしも一致しないため、曖昧になりがちです。時間を明確にするなど具体的な約束を決めることが大切になってきます。また、GIGA 端末は設定していますが、家庭の端末もフィルタリングの設定をしっかりとしておくことが、子どもたちを犯罪から守ることにつながります。安易に使わせるのではなく、きちんとルールを決めて、正しい使い方ができる大人にしていかなければなりません。これからもネットトラブルから子どもたちを守っていけるように、御協力をお願いします。

<ご家庭へのお願い>

- ・ 3月から9月の帰宅時間は18時までとなっています。御協力をお願いします。
- ・ 道路交通法第63条の11では、「13才未満の児童または幼児の保護責任者は、児童等を自転車に乗車させるときは、乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない」と規定されていますが、「愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例」ではそれに加えて、「**全ての自転車利用者が乗車用ヘルメットを着用する**」ことを励行事項としています。お子様の自転車利用の際のヘルメット着用についての保護者の方の働き掛けについて、御理解・御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 日が長くなり、不審者も多くなってくる頃です。安全面から、過度に肌を露出する服装（ノースリーブやオフショルダー）での登校は御遠慮ください。



J R C 登録式



J R C 担当

J R C 委員会が中心となって登録式を行い、1年生を青少年赤十字の仲間に出迎えることができました。今年度も、「気づき、考え、実行する」の精神を大切にして、自分たちにできることを進んで行っていきます。J R C 週間には、1円玉募金やエコキャップの回収も行っています。今年度もご協力をよろしくお願いします。



清水っ子、がんばっています！！

1年 じょし

あさがおの つるが のびてきました。さわると ちくちくしました。はっぱをさわるとやさしいかんじが しました。あさがおは とても かわいくて だいすきです。ぴんくのおはなが さいてほしいです。

2年 女子

2年生になって、べんきょうがどンドンむずかしくなりました。いちばん算数がむずかしいです。だから、もっとべんきょうをがんばります。わたしは、てつぼうのさかあがりながいでです。この一年間で、できるようになりたいです。できたら、おかあさんやおとうさんに見せたいです。ともだちにも、できたよっておしえたいです。

3年 女子

3年生になって外国語が始まりました。最初はどきどきして、むずかしそうだなあと思いました。だけどなれてきて、外国語の時間は楽しく、大すきになりました。外国に行ったときに、外国語を使って話をしたり町をあんないしてもらったりしたいです。外国に行くときが楽しみです。外国語は大事だから、これからがんばります。

4年 女子

クラブで生け花をしました。リアトリスという花とバラを生けました。なかなかうまく生けられなかったけど、先生に教えてもらってできました。生け終わると、みんなの作品を見ました。三年間ずっと生け花をしている六年生とわたしの作品をくらべてみると、全然ちがうと思いました。家に帰って急いで花を花瓶に入れました。「きれいだなあ。」とついつい言っていました。初めてだったから分からないことがいっぱいあったけれど、次もがんばって生けたいです。



6年生 修学旅行



私は、この二日間とっても楽しかったです。ま・な・ぶの中で「ぶ」の文化・歴史に触れることができました。広島県の原爆ドームへ行くと、被爆した人が身に着けていたものや着ていたものを見ました。実際に見るとより一層平和の大切さについて深く知ることができました。香川県の塩江温泉ホテルやNew レオマワールドでは、マナーを守り、仲間とのきずながより一層深くなったように感じました。

今回の修学旅行での様々な体験を通して、学年目標の「GOAL」に一步近づくことができました。これからも修学旅行で深めた仲間とのきずなや公共の場でのマナー、そして広島で学んだ平和の大切さ、戦争のおろかさを知って、自分にできることを進んでして、これからの学校生活で、他学年の手本になれるように頑張っていきたいです。

6年 女子

私は、この二日間でたくさんのことを学びました。例えば、友達との関係や協力の仕方、共通の場所でのマナー、文化とふれあうことの大切さなどです。広島平和記念資料館では、これから楽しいことや嬉しいことがあるはずのたくさんの人の命が、原爆により奪われたことを知りました。罪のない人たちまでも殺してしまう原爆を、私は強くうらみしました。「ま・な・ぶ」という言葉をこの二日間で生かすことができて良かったです。これを学校生活以外の場面でも使うことができたらいいと思います。そして、修学旅行を楽しめるように計画してくれた先生方をはじめとするいろいろな方に感謝しています。

6年 女子



5年生 自然の家（大洲青少年交流の家）



オリエンテーリングでは、みんなで「ナイス!」「ドンマイ!」の声をかけ合って助け合いができました。これからも続けたいです。クライミングでは、3メートルの少し難しいところを何度も繰り返してから8メートルに挑戦しました。少し怖かったけどがんばって、登りきることができて、成長したなと思いました。部屋の片づけでは、くつをそろえて、4人で一緒にバッグを整頓して、ふとんやシーツを元のように片付けて、一発で合格しました。学校や家でも、このようなことができるようにしたいです。

5年 男子

わたしは、自然の家の活動で、「集団で行動する大切さ」を学びました。みんなで助け合ったり、喜び合ったり、一緒に悲しんだり、励ましたりしたことで、一人では味わえない貴重な経験ができました。特にクライミングでは、みんなで挑戦したからこそその達成感や楽しさがありました。この経験を学校生活でも生かしていきたいと思います。

5年 女子